

**音楽の授業の課題**

- 1 音楽の時間が「合唱コンクール」の練習時間等になっている授業が見られます。
- 2 鑑賞における言語活動では、聴取すべき点が不明確なため、生徒が漠然とした感想をもつことにとどまっている授業が見られます。
- 3 題材で指導すべき（共通事項）とは何かが理解されていないため、「思いや意図をもって歌う」ための指導などにおいて、ねらいが焦点化されていない授業が見られます。

**授業改善のための取組として（案）**

音楽と特別活動のねらいを混同することなく、生徒一人一人の表現の工夫を大切にされた歌唱指導を行いましょ。

- 合唱コンクールは、特別活動における「学校行事（文化的行事）」の一環であることから、すべての練習時間を音楽科が担うなど、必要以上に時数を費やさないようにする。
- 合唱コンクールの曲を扱う際には、全員で一つの音楽をつくっていく活動を通して、生徒一人一人の表現の工夫を大切に、表現したいイメージを伝え合ったり、協同する喜びを感じたりする指導を重視する。

鑑賞における言語活動では、生徒が着目すべき点を明確にし、音楽のよさや美しさを味わうことができるようにしましょ。

- 「音色」「リズム」「速度」等の鑑賞のポイントを生徒と共に確認する。
- 鑑賞後に行う意見交換などを通して、生徒が自分の考えとの違いに気づき、新たな価値観をもつことができるようにする。

題材で指導すべき（共通事項）の必要性を理解し、表現及び鑑賞の各活動において十分指導が行われるよう、意図的な指導を行いましょ。

- 「思いや意図をもって歌う」ためには、生徒は音楽の「何」をポイントとして活動するのかを明確にし、〔共通事項〕（音色、リズム、旋律など）を焦点化するとともに、ねらいが達成されるよう意図的に指導する。
- 〔共通事項〕は表現や鑑賞の活動と切り離して単独で指導することなく、歌唱、器楽、創作、鑑賞の各内容と関連させて適切に指導する。

**【コラム】 すべての領域をバランスよく指導する時数配当にすること**

中学校における音楽の指導は、生徒の多様な実態を踏まえ、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、生徒の興味・関心を引き出し、学習への意欲を喚起することが大切です。このことから、音楽を豊かに表現する力や鑑賞を深める力を育成するためには、年間指導計画を作成する際に、歌唱、器楽、創作、鑑賞のすべての領域について、特定の活動に偏ることのないよう、適切な時数を配当するとともに、例えば、歌唱の指導について合唱に偏ったり、鑑賞の指導について特定の曲種に偏ったりすることのないようにすることが大切です。